

安来市長
近藤 宏樹

情報科学高校
岡田 日菜乃さん

情報科学高校
岩本 さくらさん



市長席で撮影

若い世代がこの先も 住み続けたいまちに

新春
座談会

新時代での新春を迎えました。私たちは次の世代を意識してまちづくりを進めていかなければなりません。今号の特集は、市長と次世代を担う高校生との座談会。市と包括連携協定を結ぶ情報科学高校の二人に未来の安来や自分たちの強みをどうまちに生かせるかを語っていただきました。

市長 積極的な姿勢が良いですね。私が皆さんくらいの頃は、なかなか立候補するという勇氣はありませんでした。10代の頃に自分から進んで取り組んでい

岡田日菜乃さん（以下、岡田）昨年を振り返ると、生徒会長に選ばれたことが一番印象深いです。立候補をすることは勇氣のいることでしたが、周りの人の後押しがあり、立候補できました。

近藤市長（以下、市長） 昨年は新時代「令和」が始まりました。皆さんの学校活動も新たな気持ちで取り組めたのではないですか。

女性の力は
まちの発展に不可欠

島根県立情報科学高等学校

昭和62年に開校。マルチメディア科・情報システム科・情報処理科の3コースがあり、IT関連の専門的な学習ができる全国でも珍しい商業・情報の専門高校。

平成30年6月には安来市と地域情報化・産業活性化の発展に向けた包括連携協定を調印。市内産業の活性化やITを生かした個性豊かな地域社会の形成に貢献しています。能義町、全校生徒300人。



情報 I T フェア

情報科学高校では、楽しみながら I T 技術を身近に感じてもらうと平成 28 年から毎年、「情報 I T フェア」を行っています。

令和元年は 11 月 30 日～12 月 1 日に同校で開催しました。生徒が講師となり、プログラミング体験やドローン、パソコンのエクセル操作などを説明。来場者は最新の技術に見入っている様子でした。また、フェア中は、日頃学んでいる技術を通じて地域の人と関わる高校生たちの生き生きとした姿が見られました。(写真は、ロボットの車を自動で動かすプログラミング体験の様子。)

こうという気持ちを持っていることはすばらしいです。

岡田 ありがとうございます。選ばれたからには、周囲の支えてくださる人に感謝して、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

岩木 さくらさん(以下、岩木) 私は昨年一年を「自分が成長した年」と位置づけています。「情報 I T フェア」の実行委員長という立場でフェアを成功させることができました。どじょつこテレビに出演したり、自分で作った広告を新聞に掲載してもらったりと多くの経験ができて

した。市長 トップとしてイベントを仕切るとは大変なことだったと思います。メディアへの出演や広告の作成などはこれから役に立つ経験でしょうね。

岩木 この経験をこれから生かしていけたらと思っています。市長 女子生徒が学校で輝くことは今の時代、必要なことです。国をはじめ市でも女性が活躍しやすい社会の構築を進めています。私も女性の力はまちの発展に不可欠だと考えています。皆さんには、社会に出て活躍してほしいですね。

具体的にどんな提案がありましたか。岡田 スーパーのかごや事業所のトイレのスリッパに関する提案では、実際に改善案を取り入れていただきました。スーパーの例は、お年寄りや子どもでも取れる高さにかごを積むというもの。事業所の例は、これまでトイレに入るときに一回一回スリッパに履き替えていたのを靴のまま履ける大きなスリッパを採用し、手間を省

地域の人や企業に関わることでまちに貢献

岡田 積極的な姿勢は学校活動で身につけているかもしれませぬ。情報科学高校には、他の高校にはない実践的な学習があるんです。例えば、課題解決型学習を取り入れているインターンシップ。これは各企業などでの職場体験を通して業務に係る改善点などを探る学習です。インターンシップ後に企業担当者などを招いた報告会で改善案を提案するというところまでがこの学習の全課程です。

市長 なるほど。普段働いている人は、仕事の仕方など、それが当たり前になっています。外の目から見て、改善できる点を考えていくことは大切な視点ですね。

具体的にどんな提案がありましたか。

岡田 スーパーのかごや事業所のトイレのスリッパに関する提案では、実際に改善案を取り入れていただきました。

スーパーの例は、お年寄りや子どもでも取れる高さにかごを積むというもの。事業所の例は、これまでトイレに入るときに一回一回スリッパに履き替えていたのを靴のまま履ける大きなスリッパを採用し、手間を省



▲座談会の様子。少し緊張しながらも積極的に発言する高校生。

くというものです。

市長 課題を見つければ解決する意識を身につけられる学習ですね。こうした姿勢は行政の仕事をする上でも必要なことです。

皆さんは、地域の人と関わる活動もされていると聞いていますが、どんなことをしていますか。

岩木 情報 I T フェアなどのイベントもそうですが、I T に関する市民向けの教室を休日に行っています。まだまだ多くの人々が I T は難しいものというイメージを持っているように感じます。楽しく簡単にプログラミングやパソコンの技術が学べるこの教室で、そういったイメージを変えたいと思います。市長 これからは I T の時代になります。市民の皆さんが I T



岡田 日菜乃

Okada Hinano

2年生。令和元年10月から生徒会長を務める。生徒会だけでなく部活、勉強にも力を入れ、文武両道の学校生活を送る。

行政と一緒に 安来の魅力を 全国へ広めたい

に触れる機会をつくってもらっていることは行政からしても心強いことです。

市は、パソコン整備や無線LAN環境整備など、小中学校へのICT環境の充実を進めているところなんです。市の施策と皆さんの活動が上手くマッチして小中学生の能力向上にもつながると良いですね。

岩木 ITは暮らしに役立つものです。これからも多くの人にITの魅力を発信していきたい。ITを使って安来を暮らしやすいまちにしていけたらと思っています。

岩木 **誇れるまち「安来」
その魅力を全国へ**
私は安来の高校に通学し

ていて、このまちは、地域の人が優しくて愛情にあふれているという風を感じています。学校から帰るときに顔見知りでない人が「おかえり」などと声を掛けてくれます。これは当たり前なことではなくて、皆さんが地域を大切にしている証拠だと感じます。

岡田 私もそう思います。安来には誇れるものがたくさんありますから。安来節や足立美術館、月山富田城跡などは、テレビで取り上げられることもあり、全国に、いや、世界に誇れるものです。加納美術館も「平和」を象徴できる大切な施設だと感じています。

市長 そうですね。皆さんが言ったことは大切にしていきたい



岩木 さくら

Iwaki Sakura

第4回情報ITフェア実行委員長。剣道で鍛えた精神力とリーダーシップで全校生徒を引っ張った3年生。

ITの楽しさを 多くの人に 知ってもらいたい



近藤 宏樹

Kondou Hiroki

現在3期目の安来市長。地域・産業振興、福祉・教育、定住対策などに力を入れる。将来を見据えた政策に取り組み、まちの充実を図っている。

住み続けたいと思えるまちを次世代へ

ければなりません。中海ふれあい公園整備や月山富田城跡整備、総合文化ホール建設などを行ったのは、誇れるものを次世代へ残して、若い世代の人が「住み続けたい」と思うようなまちにしたいという考えがあったからです。若い人には「自分の住んでいるまちは、誇れる場所だ」と自信を持ってほしいです。
岡田 そういった思いがあったのです。自慢できるものがたくさんある一方で、その魅力が全国の人に十分に知られていないことを悔しく思います。
市長 確かに、全国に目を向けるとなかなか知ってもらえていないかもしれませんね。全国には、約1700の市町村があり



▲中海ふれあい公園の遊具スペース。休日には多くの家族連れでにぎわいます。



▲総合文化ホール「アルテピア」。安来の音楽や文化の中心となっています。

ます。その中で知名度を上げるのは難しい面もあります。しかし、安来は他の地域に負けない魅力がありますので、今後も国内外に向けた各種プロモーションを進めていきます。
岡田 安来の魅力を広めていくために私たち高校生にもできることがあれば、全力でやらせていただきたいです。
市長 ぜひ一緒に取り組んでいきましょう。

学校や地域を盛り上げられる人材に

市長 さて、新しい年が始まるわけですが、お二人はどんな一年にしたいですか。
岡田 今年は、生徒会長という立場でもっと学校を盛り上げたいです。現在、本校は県外から

の入学生がいることから、学校の知名度は上がってきていると感じています。この波に乗って、さらに学校の良さを発信していきたいと思っています。
岩木 私は4月から社会人になります。社会に出たら今まで以上に自分から提案したり、行動したりできるようにしたいと思っています。積極的な働きかけで地域にも貢献していきたいという気持ちもあります。

市長 若い人には皆さんのように目標をもってもらいたいと思っています。若い人のがんばりは未来の安来のためになります。これからも自分を磨いて活躍していきましょう。
私も誇りを持って住みたいまちづくりをまい進していきます。